

主直日誌

4月 17日(火) 天候 c

主直氏名

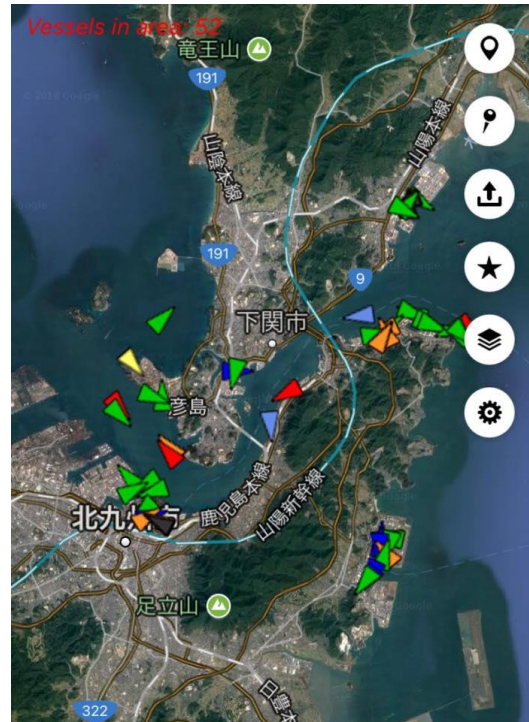
【実習・課業の具体的な内容】

- ・ 機関日誌、配管図

【感想(一日を振り返り、勉強になったことや感じたこと)】

今日の午前課業では、機関士にとって重要な仕事である機関日誌について学びました。機関日誌については数値を見て比較して機械の異常を発見する記録程度の認識しかありませんでした。他の役割として事故が起こったときにどんなことをしていたのかを記すことによって公的な証拠となります。また機関日誌には、機械の計測や機械の始動停止の時刻を書く以外にも衝突などの事故発生の時刻やその事故の顛末まで書くことを初めて知りました。昨今、国会では公的文章の紛失や書き換えが話題になっています。機関日誌も公的証拠(文章)ということであれば、そのような顛末にならないためにも、機関日誌をしっかりと管理(記載、記録、保管)することが大切であるということを感じました。今のうちからしっかりと覚えておきたいです。午後の課業では、F.O(燃料)の配管について学びました。F.Oの配管系には、洗浄、移送、主機関への供給、タンクへの供給がありました。この4系統をしっかりと覚え、将来にいかしたいです。前の時間にならっていた清水系統や海水系統よりも複雑なので、しっかりと当直中に実物を確認して、覚えたいです。

午前中には、関門海峡を通過しました。関門海峡は、思ったよりも航路幅が狭く、潮流の速い航路です。やいづよりも遥かに大きな船が多数航行しています。きっとそのような船では我々より一層狭く感じているのだろうと思うとともに、よくこのように狭い航路を走れるなと思いました。関門海峡は、今まで通ってきた航路の中でも一番船舶交通が混雑していました。午後には、DASH島も見ました。いつもTVで見ているものを実際に目で見るのは、なんだか不思議な気分でした。これからは復路になります。2次航海から始まる漁場調査実習に備えて、今航中に機関運航についてできる限りのことを学んでいきたいです。



本日は関門海峡航路を通りました。関門には52隻の船舶が確認できます。

周囲の船舶にも自分の状況を知らせるため、「行き先信号」を掲げます。



相変わらずブリッジは緊張感があります。他船の状況確認を怠れません。

